

# 武雄市の文化財

今回は、武雄市内にある指定文化財のうち、年中行事について紹介します。

武雄市重要無形民俗文化財に指定されている年中行事として、『武雄供日の流鎗馬行事』と『黒髪神社の流鎗馬行事』があります。

『武雄供日の流鎗馬行事』は、武雄供日に由来するもので、次のように伝承されています。



エイトウ (武雄神社)

詔し、神事が終わつたあと流鎗馬を奉納しました。これが武雄供日の始まりといわれています。

流鎗馬行事は、現在10月23日に実施されており、前日の22日に宵の祭りがあります。宵のまつりでは神事の後、荒踊りやエイトウ(長持ち)を青竹で叩きながら

寿永3年(1183)源頼朝が武雄神社に使者を送り、平家追討を祈願します。

そのため、源氏と平氏の戦いの際、武雄神社の使いである白鷺が飛んできて、源氏方を励まし守護したそうです。文治2年(1186)頼朝は、武雄神社に御教書を送り戦勝報告をしました。その際、武雄領主後藤宗明が9月23日に武雄神社に参

市街地を回る行事)

が行なわれます。23日には、上り馬行列が武雄神社に到着し、神事が終わった後、流鎗馬が奉納され、下り馬行列を行ないます。この行列の様子は、まるで鎌倉時代の絵巻を見るようです。

『黒髪神社の流鎗馬行事』は、毎年10月29日の例大祭に合わせて行なわれます。武雄鍋島家「後藤記」の「大蛇退治祈願成就流鎗馬式」によると、大蛇退治祈願成就のため永

万年(1165)より奉納されたと伝わっています。一連の流鎗馬神事は、総括責任者である締元の選出から始まり、様々な準備や儀式を行い、当日を迎えます。当日は神事や御神幸等を



流鎗馬 (黒髪神社)

行なった後、流鎗馬へと移ります。流鎗馬は、三騎射を七回行います(「三騎の七のほり」という)。武雄・黒髪の流鎗馬行事は、武雄市を代表する行事として重要なものであるといえます。

## 武雄市図書館



### 図書館データ (10月)

- 入館者数 21,709人 (累計 1,776,134人)
  - 貸出冊数 26,721冊 (1日当たり 1,113冊)
  - 登録者数 130人 (累計 29,194人)
- まだ登録されていない方! 図書館ではあなたの登録をお待ちしています。

貸出冊数・期限	● 図書	10冊	15日間
	● 雑誌	2冊	8日間
	● AV資料	2点	8日間

### 人の動き

総人口	52,395人
男	24,788人
女	27,607人
世帯数	16,800世帯



武雄町	16,005人	東川登町	2,696人
橋町	2,850人	西川登町	2,219人
朝日町	5,714人	山内町	9,584人
若木町	2,012人	北方町	8,567人
武内町	2,748人		

平成18年10月末現在